学校番号	1007

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳述政治・経済」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年をかけて、政治分野と経済分野を学習します。政治分野では、日本の政治を中心に、その仕組みや世の中とのかかわりを学びます。また、国際政治にも関連して学習します。経済分野でも日本の経済を中心に、その歴史についても学習します。

2　学習の到達目標

【知識、技能】
広い視野に立って，民主主義の本質に関する理解を深め，現代における政治，経済，国際関係などについて客観的に理解する。
【思考力、判断力、表現力】
現代における政治，経済，国際関係などの諸課題について主体的に考察し、表現する。
【主体的に学習に取り組む態度】
積極的な授業参加をし、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を身に付けることができる。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めることができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	現代日本の政治	1 民主政治の基本原理 2 日本国憲法の基本的性格 3 日本の政治機構 4 現代日本の政治	a: 政治と法の意義と機能，基本的人権の保障と法の支配，権利と義務との関係，議会制民主主義について，現実社会を参照しながら理解を深めている。 b: 世界や日本の政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c: 民主政治の基本原理とその課題について、積極的に授業に参加し、社会生活に生かそうとしている。	定期テスト	定期テスト	授業態度 提出物
	現代日本の経済	1 経済社会の変容 2 現代経済のしくみ 3 現代経済と福祉の向上	a:現代経済の歴史的背景としくみ、福祉について理解し、その情報を読み解く技能を身につける。 b: 経済活動について多面的・多角的に考察し，表現させる。 c: 経済活動とその課題や国民福祉について、積極的に授業に参加し、社会生活に生かそうとしている。	定期テスト	定期テスト	授業態度 提出物

2	グローバル化する国際社会の諸課題	1 現代の国際政治 2 現代の国際経済 3 国際社会の諸課題の探求	a: 国際政治や国際経済について理解し、その情報を読み解く技能を身につける。 b: 国際社会の諸課題解決のために、国際政治や国際経済について多面的・多角的に考察し，表現させる。 c: 国際社会の諸課題解決のために、国際政治や国際経済について積極的に授業に参加し、社会生活に生かそうとしている。	定期テスト	定期テスト	授業態度 提出物
3	現代日本における諸課題の探求	1 食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現 2 多様な働き方･生き方を可能にする社会 3 少子高齢化社会における社会保障の充実･安定化	a: 現代日本における諸課題を理解し、その情報を読み解く技能を身につける。 b: 現代日本における諸課題を多面的・多角的に考察し，表現させる。 c: 現代日本における諸課題を理解し考えを深めるために積極的に授業に参加し、社会生活に生かそうとしている。	定期テスト	定期テスト	授業態度 提出物

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度